

# ああ、 結婚！

—婚活日記—

第33回

黒田長宏

<2024年11月4日>

今日は59回目の原稿を多分全著者の中で最速だと思うのだが提出した。これは私の性質からである。

<11月14日>

婚活アプリだが、数日前にけっこう積極的な人がマッチングしたが、茨城県在住の私としては、その人が大阪で距離的に負担だった。しかし婚難救助隊の動画を紹介したところブロックされた。

<11月19日>

昨日マッチングアプリでマッチングがあり、動揺しているところ、今日また別の人がマッチしたみたいで、どうなっているのかちょっと怖い。二兎を追う者は一兎をも得ずだが、片方だめな時に、片方逃したら、それも全滅なので、双方様子を見るべきだと判断している。

<11月22日>

なんだかわからないが、10年前よりもマッチングアプリがマッチングまでは成績が良いのでプレッシャーで疲れている。だが、そこからダメならダメなわけだ。どうなっていくかまだわからない。当たり前か。

<11月27日>

なんかマッチングしても相手が消えちゃうよ。

<12月22日>

ここ数日、新たにマッチングがあり、昨夜はLINE電話まで行きついた人が出来たが、電話後LINEでいろいろ書いた最後に、私の真面目すぎるところが出来てしまい、相手が寝ってしまった後、朝に来ていた挨拶が無くなっている。それで心配しているが、かなり積極的な人でチャンスだったのに、また終了なのか？忙しいのか？かなり進んだケースだがそれでも難しい。ダメなら次の人達に応募し続けるしかない。ダメならかなり落ち込むケースだ。それでも5、6日だけのことだ。私は職場に自慢？してしまうから、また始まった。でオオカミ少年みたいに思われるだろう。そういう趣味か。

<12月24日>

今度のマッチングアプリの人の返信度合いが極端に減ってしまった。いったいどうなっているのだろう。一人マッチングすればしたで、LINEの既読スルー問題が体験できる。学者のようにフィールドワークを意図してやっているわけではなし。クリスマスイブだからサンタのメッセージを送ったが、さらに悪手だっただろうか。待つしかないし、ダメなら次の人、次の人へとドライに行かねば成就できないのだろうか。

<12月25日>

今回の人は、LINEまで行ったが、既読スルー、未読スルーになってしまい、職場の方々にも相談してしまったが、夜、今、止まってしまったし、楽しいLINEだったが、相手は旅行の趣味やスポーツの趣味で私と合わないし、きっと相手は急に冷めたかも知れないとしても、事情を書いて、エールを送って、丁寧にブロックすると書いて、ブロックした。かなりの年齢差でもあり、残念だ。

こんな奇跡があるのかと思っていたのだが。でも私ではきっと飽きてしまうだろう。なにしろ、アウトドアはしたくない。私の人生はインドアが良いと思っているのだから。

<12月27日>

4つの婚活アプリをしているのに、今日新たに2つ追加した。いつやることなんだよ。と問われたら、今でしょ。と以前流行った言葉通りであろう。ボーナス月だからなんとかなるんじゃないか。

<12月27日>

これを人生の一度きりの出来事というのだろうか、新たなマッチングアプリで一人とメッセージ交換できたのだが、私が、「疲れていたら後日また連絡欲しい」と書いたら、止まってしまった。どうも、何を書いたら相手がどう反応するのかがわからない。後日返信が来ると良いのだが。もちろん、その人だけではなくて、複数の人達に応募しないと、そこが生真面目な人だと時間を大きく費やしてしまう原因なのかも知れない。マッチングしても交際前で判断している状況であるから、複数とメッセージ交換するので良いのだろう。ただ、なかなかなかなかマッチングはしないのだ。

<12月29日>

婚活アプリがめまぐるしく、隣県で近い人とチャット風に来たのだが、また既読スルーになり、さきほどこちらからブロックした。入れ替わって、今度は愛知県なので遠いのだが、いいね！が来ていてマッチングした。応答はまだだが、隣県の方は最初後ろ姿だったが、思い切ってありがとうに応じたら、応答もきてチャット風になり、だが、途中で顔が出してきたが、ちょっと私の顔の好みと違って迷ったが、私が変なことを書いたのか、既読スルーになっていた。具体的な会う約束のメッセージを昨晚書いておいて、既読スルーだった。だが、次々に新たにいいね！が来たので、心理的にダメージが少なくて助かる。今度の方はまだ応答もないが、写真が好みなので気が楽である。どんどんやっていくしかない。一人いればいいのだから。しかし痩せたからか、10年前の婚

活よりもてているようだ。1月に心筋梗塞で死んでいたかと思うと、現存する世界は不思議である。

<12月29日夕方>

それにしても10年ぶりに婚活アプリを復活させてから、数回前の思弁的なわけのわからないことを提出していた頃と大きな違いだ。簡潔に書かないとカットをお願いされてしまうほど動きがある。でも、新たに登録した時だけのような気もする。それはチャンスなのかサクラなのかかわからないが、婚活アプリ企業のほうもサクラには企業努力で排除しているかも知れないし。私なんかなれない知的職業の人のほうから、「写真が素敵」とアプローチが来たが、私のルックスの好みと多少違って、悩んだがブロックした。もったいない。でも仕方ない。後で燃えないより良いのだ。だけど滅多にマッチングしてくれる人はいない。それに今日は2つ増やすはずが、ネットトラブル続出で1つだけ増やしたが、目と肩が壊れそうだ。

<2025年1月2日>

年が変わった。昨日は3人もメッセージ交換になり新記録だったが、2人は途中で終えて、1人がLINE交換まで行った。2人めだが、1人めが既読スルー、未読スルーに突然なるし、普通だと思われる質問で消える人もいるし、私は必死だが、ゲーム感覚でやらないとやっつけられない。だが、やらないよりはなんだか無駄でない気がする。成婚のようなことにならない限り、これらの文章は、いったい何になるのか。マッチングアプリはみんながしっかりしていれば成婚率

が高まると思うことと、マッチングしたら他の人達とは距離が空く仕組みのほうが混乱しないと思う。全く来ないかと思っていたら来ることがあり、意外だ。

<1月4日>

もう数人も、人なのか AIかわからないけれど、詐欺のような相手と時間を費やしてしまった。これが日本の現状だ。マッチングアプリ企業側も詐欺を排除する工夫をしているらしいが、入ってしまっているらしい。一方で別の危険性を伴うが、職場の人に間接的なアプローチをしたが、長年一緒に働いてきて動きがなかった関係がそう動くものか。日本という国は人に優しくない。政治家は不倫で叩かれる国だ。当然だ。

<1月13日>

かなりマッチングは少なく貴重なのに、こちらから遠方などの理由でブロックしたりする。なぜか、マッチングを送ってないと思った人から返信が来てしまい、罪悪感があったがブロックした。どうしたわけか。全くないわけではない。昨日今日と連休で、婚活アプリは精一杯やっている。

<1月19日>

今度こそ詐欺ではないと思われる人が2人マッチングしているところ。ちょっとリアルだが、婚活アプリ9つのために、分割払いのテクニックを含めても、月の支払いが5万円ここのところの通常より増えてしまった。それでも勝負時である。やるしかない。

<1月19日夜>

不毛だな。詐欺では無かったが、話が噛み合わないのか途中でブロックされてしまった。その人は子供がいらないという人で、結婚するなら関係していくことなのに、子供に関する考えなどが「関係ない。余計なお世話」なのだそう。それならマッチングアプリでメッセージ交換する意味もないだろうに。男を変な奴がいたと書かれていたが、その人が変な方向に持って行ってブロックしてしまうのだろう。めげずに、良い女性は日本に現存していることを信じてアプリ続ける。上記のように、相手のほうが悪いと思う時もあるが、もう一人はマッチングしていながら、良く思い続けることが出来るのか、写真1枚ながら不安になり、メッセージを急いでいる人でもなく、年齢も若い人だったので、こちらからブロックした。これは明らかに私の優柔不断が悪い。ただ、悪化させてはいけないと、10年前の離婚で感じたはずだ。またマッチングゼロに戻ってしまった。私も悪い、日本の女性たちも悪い。悪いというよりもマッチングし続けられないだけなのだろうか。なんか何年やっても同じところに陥る気がする。でも続ける。

<1月29日>

自分に婚活市場の需要があるのだろうかと思ったり忘れてたりしながら続ける。やめるわけにはいかないと思う。思い出したのが、美醜問題をもっと専門的に考慮して欲しい所だ。地位や金で女性の選択に影響がありそうなのは予想されるしメディアなどでも言及される。それに比べて特に女性側の美醜問題はあまり言及されない。隠蔽されているのではないのか。婚活アプリを9つもやっていると、ずっと出ていながら、このルックスだ

と男性が選ぶのに厳しいのではないかと心配してしまう女性を何人もみかけてしまう。それでもいくらやり続けてもマッチングできない私自身でさえ、いいねをクリックしようと思えないし、それはいけないことだと思う。性格の美醜というのも男女ともあるだろうし、私も反省すべき点かも知れないが、私のルックスは棚に上げて、高須院長ではないが、整形と婚活という面も隠蔽しないで、または意識してみるべきではないか。整形まで行かないまでも化粧やアンチエイジングの種類と婚活をもっと意識づけるべきだと思った。

<2月6日>

57歳で婚活アプリをしてみても、全く絶望的ではないような気もする。年齢だけではない要件も左右するのだとしても。今日これを提出する前の時点、今の時点で、マッチングは一応2人残っているのだが、今日は動きが多く、マッチングしたのにブロックされた人もいれば、こちらから、とてもそういう身分ではないだろうに5人ブロックした。そのうち3人はなぜ入っているのかわからないが、詐欺まがいのようなケースだろうと思う。継続していると察知するようだ。詐欺まがいでないとしたら残念だが、きっと詐欺まがいか、いずれにせよ、躊躇する時点で相手に失礼だからブロックするに限る。そのほうが悪いようでも実は良心的なのだと思ってきた。

私は通常、提出は早く済ませてしまう。ぎりぎりになると提出し忘れてしまいそうな脅迫観念かも知れないし、心筋梗塞になった身である。何が起きるかわからない。提出を早めにすれば1回分、多く提出出来るかも

知れない。どこで完結させるのかはわからない。私がもし、婚活に成功したとしても、世の中ではまだ結婚難から孤独死する人は出続けると推測されるからである。こうした場や、ネットなどで私がこうするように表現することによって、一人でも気づいて欲しい。だからこの後、提出しようと思う。成就するのは次号以降だ。

婚活アプリというのも、援助のための道具ではあるのだろう。なぜ私は空白期間をこんなに設けてしまったのだろう、過去の時間は取り戻せない。しかし今も何もしなければ、生きていたとしたならば、未来に悔いとしての今になってしまうだろう。婚活アプリ9つというのをやる前は思弁的に空想的に日にちだけを過ごしてしまった。その頃の記述は、いったい何をやってるんだか。そうかやっていなかったからかというような事だろうか。だが出来ないまま過ぎてしまう人もいるのだ。出来る人と出来ない人の違いとはなんなのか。そんな内省的になる事にも意味はあるのかも知れないが、婚活アプリをしてみると事実を記述してだけで、スイスイと文章も埋まる。だが文章を埋めるのが目的ではない。